



2023年度 研究所オープンハウス

医療的ケア児等コーディネーターの活動に関する研究

研究所 障害福祉研究部 小田島 朋 odajima-tomo@rehab.go.jp

1. 医療的ケアが必要な子どもの現状

医療的ケアの一例

医療の処置や対応が日常的に必要な子どものこと。
医療的なケアが必要なため、難病や重い障害があることも多い。
2019年の時点で20,155人いるとされ、
2010年の10,702人から、およそ10年で約2倍に増加している。



経管栄養をしている乳幼児

気管切開をしている乳幼児

気管切開をして人工呼吸器を装着している児童

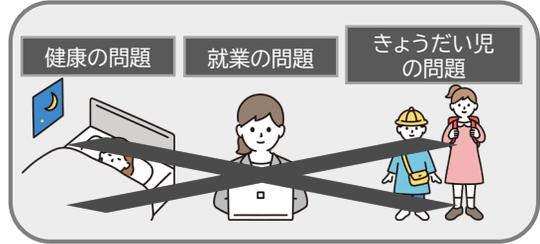
医療的ケア児の推移



厚生労働科学研究費補助金(障害者総合研究事業)平成28年~平成30年度「医療的ケア児に対する実態調査と医療・福祉・保健・教育等の連携促進に関する研究」
厚生労働科学研究費補助金(障害者政策総合研究事業)分担研究報告書 平成30年度「医療的ケア児に対する実態調査と医療・福祉・保健・教育等の連携に関する研究」

家族の課題

健康面－夜もケアが必要なため家族は睡眠不足や体力が低下している。
就業面－医療的ケア児を預かることができる施設が少なく、働けない。
きょうだい児－きょうだいの行事や習い事などまで手が回らない。



医療的ケア児と家族の支援体制

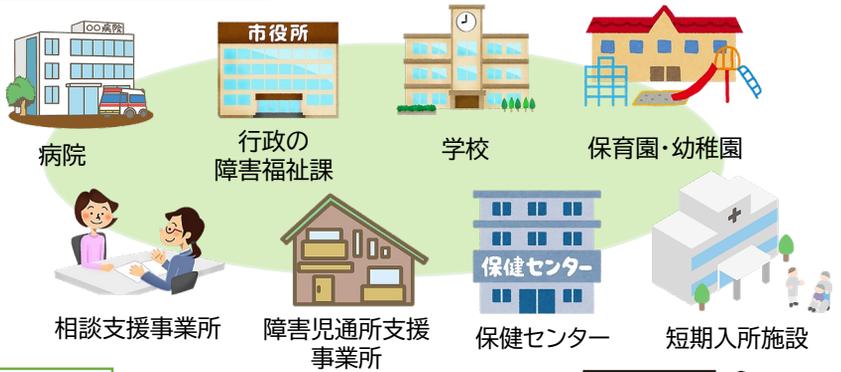
自宅で生活するにあたって、主に訪問看護、訪問診療、訪問介護などを利用しており、
医療・障害福祉・保健・教育・行政機関など様々な機関・施設と関わりを持っている。



在宅ケア



生活に関わる機関の一例



2. 医療的ケア児等コーディネーターの研究

医療的ケア児等コーディネーターは医療的ケア児と家族の生活をサポートするキーパーソン。

様々な資格を持ち、多分野の機関・施設に所属しているが活動や役割に課題がある。

所属先の例－障害児通所支援事業所・相談支援事業所・訪問看護ステーションなど。

所有資格の例－相談支援専門員・社会福祉士・看護師・介護福祉士など。



厚生労働省の調査により、
課題が判明※

“活動が十分にできていない”
“位置づけや役割が明確でない”
“人材が不足している”等

機関・職種に応じた活動の方法があるのでは？

研究調査

医療的ケア児等コーディネーター
を対象としたインタビュー調査

機関・職種に応じた適切な活動内容を
検証

※三菱UFJリサーチ&コンサルティング、医療的ケア児とその家族の生活実態調査報告書(厚生労働省令和元年度障害者総合福祉推進事業)、2020年3月。
PwCコンサルティング 合同会社、医療的ケア児の実態把握のあり方及び医療的ケア児等コーディネーターの効果的な配置等に関する調査研究事業報告書
(厚生労働省令和3年度障害者総合福祉推進事業)、2022年4月。